

公表	放課後等デイサービス事業所における自己評価総括表
----	--------------------------

○事業所名	児童発達支援センターらいむの丘		
○保護者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 11月 28日		
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	98 (回答者数)	45
○従業者評価実施期間	令和6年 10月 1日 ～ 令和6年 10月 25日		
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	23 (回答者数)	23
○事業者向け自己評価表作成日	令和 7 年 1月 24日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保育士、児童支援員、各種訓練士など多職種が連携をとって支援を行っている。	専門分野の視点からさまざまな意見を出し合い、活動内容から組み立てて支援を行っている。	今後も多職種連携を続け、よりよい支援につながるように取り組む。
2	全利用者が児童発達支援から継続しているので、途切れることなく適切な支援ができる。	小学校への進学時など、大きく環境が変わる場合でも、その子にあった支援ができ、変化にも対応できる。	小学校で学ぶことを活かしたプログラム作りを組んでいく。
3	施設内の環境を活かした支援ができる。	施設併設のショップでのお買い物体験等を通じて、算数などの学習を絡めた支援を行っている。また公園で大きく体を動かすことができる。	今後も施設の特徴を活かした取り組みを行う。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員によって支援にバラつきがあるという意見がある。	対象者の年齢が上がり、それに合わせた活動内容を考えるのが難しい。	小学校が行っていることを学ぶ機会を作り、職員の知識の底上げを行う。
2	緊急時対応マニュアルはあるが、周知ができていない。	周知不足である。	フローチャートを作成し、掲示する。
3	放課後等デイサービスでの避難訓練が行えていない。	らいむの丘としては行っているが、放課後等デイサービスの時間帯では行えていなかった。	年に1回程度実施する。